

論点2

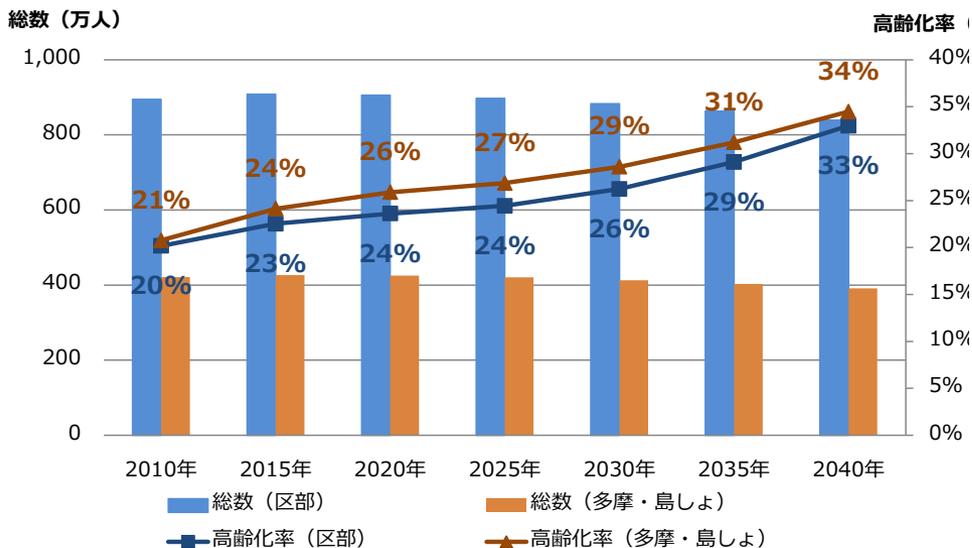
地域公共交通の改善

地域公共交通の背景と現況

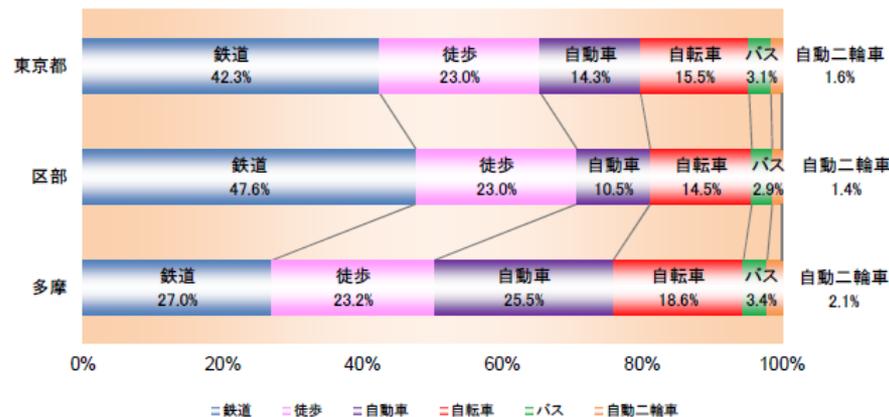
地域公共交通を巡る現況

- ◆ 人口減少、高齢化に伴う変化に、交通としての対応が必要。
- ◆ 多摩地区では区部より早期に人口減少、高齢化が進んでいる。一方、自動車分担率は区部に比べ高い。

＜東京都 地域別人口総数と高齢化率の推計結果＞



＜交通手段別分担率(区部、多摩、都全域)＞



出典:「第五回東京都市圏パーソントリップ調査(平成22年度)」
東京都市圏交通計画協議会

資料:国立社会保障・人口問題研究所「男女・年齢(5歳)階級別の推計結果(平成25年3月)」より作成

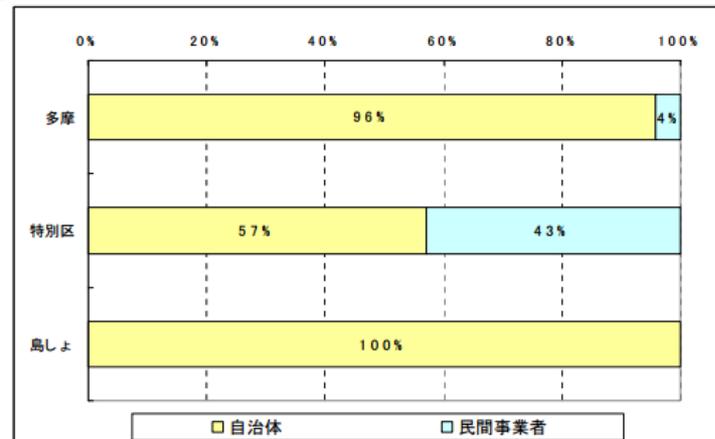
地域公共交通を巡る現況

◆ 「暮らしの交通」である地域交通の確保の困難さが指摘されている。

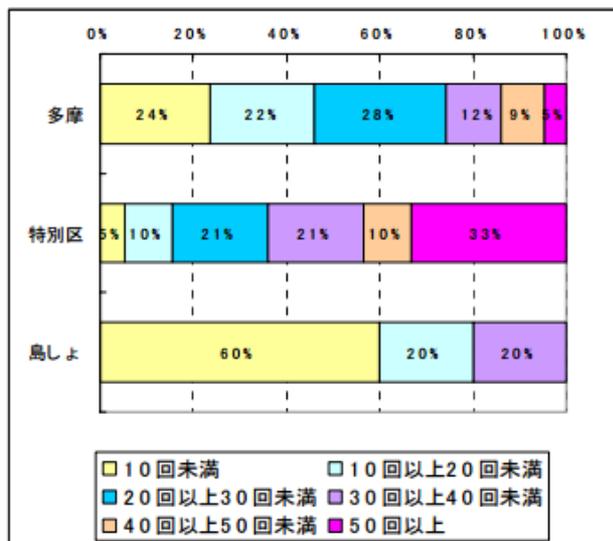
＜多摩地域 アンケート調査＞

コミュニティバスの課題

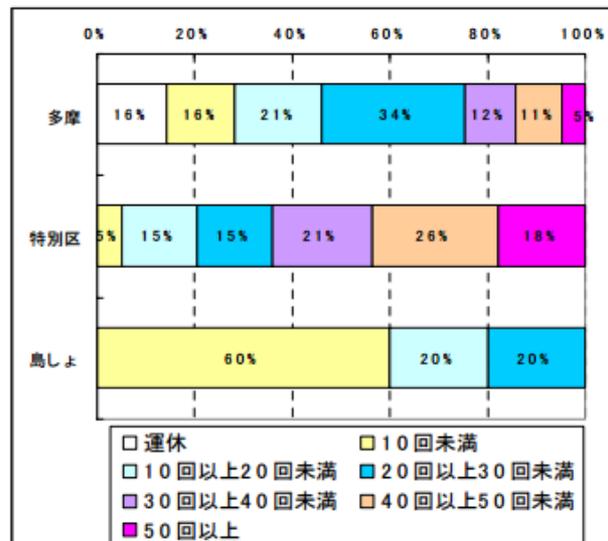
多摩地域でのコミュニティバス運営主体は96%自治体となっており、民間事業者の運営が23区に比べて少ない。また、運行回数は23区では50回以上が多いのに対し、多摩地域では10回以下～30回未満が主となっている。



運営主体 (自治体別集計)



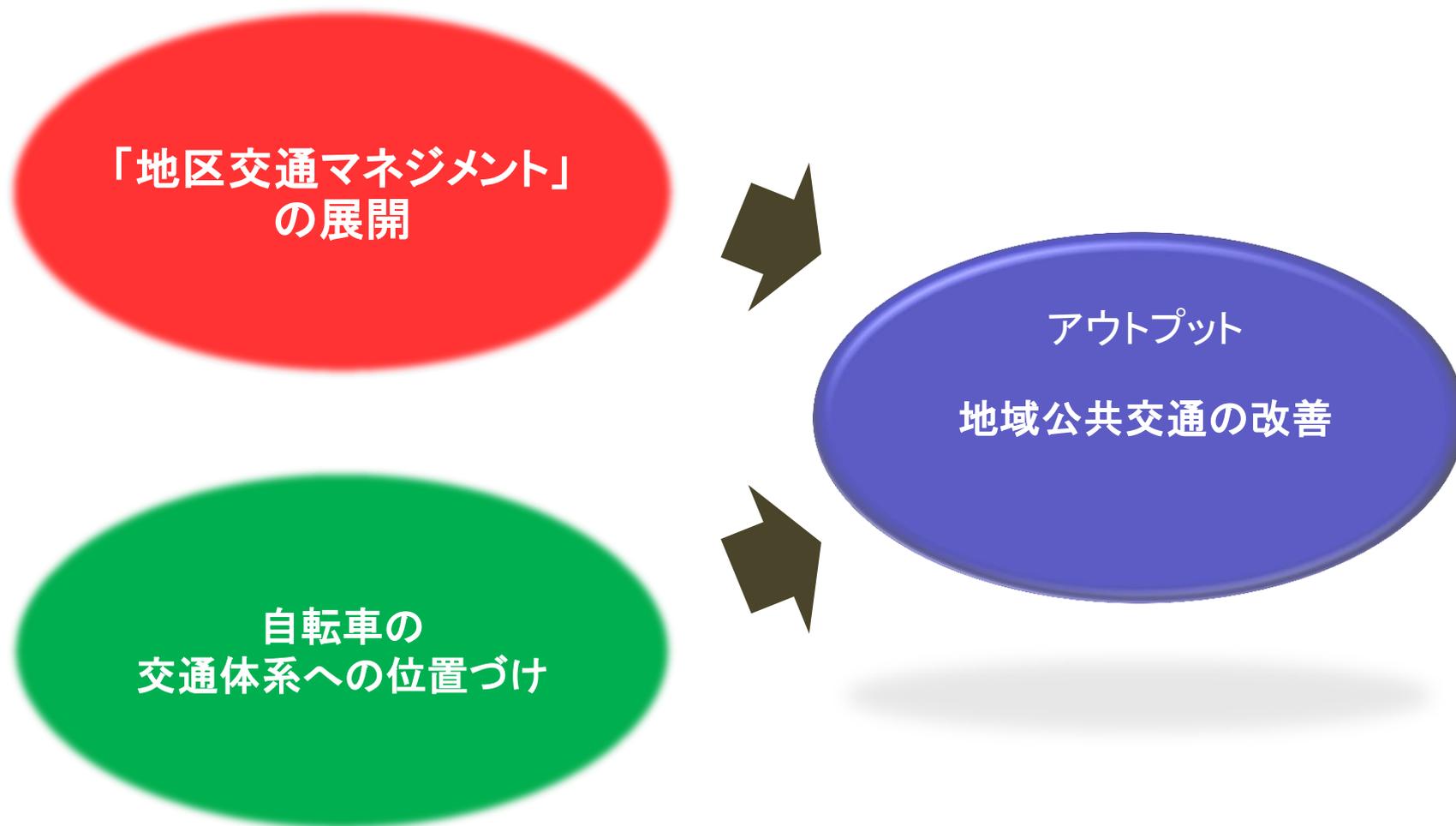
運行回数・平日 (路線別集計)



運行回数・土日 (路線別集計)

地域公共交通の改善の 施策展開(アウトプット)イメージ

地域公共交通の改善のアウトプット



地区交通マネジメントの促進

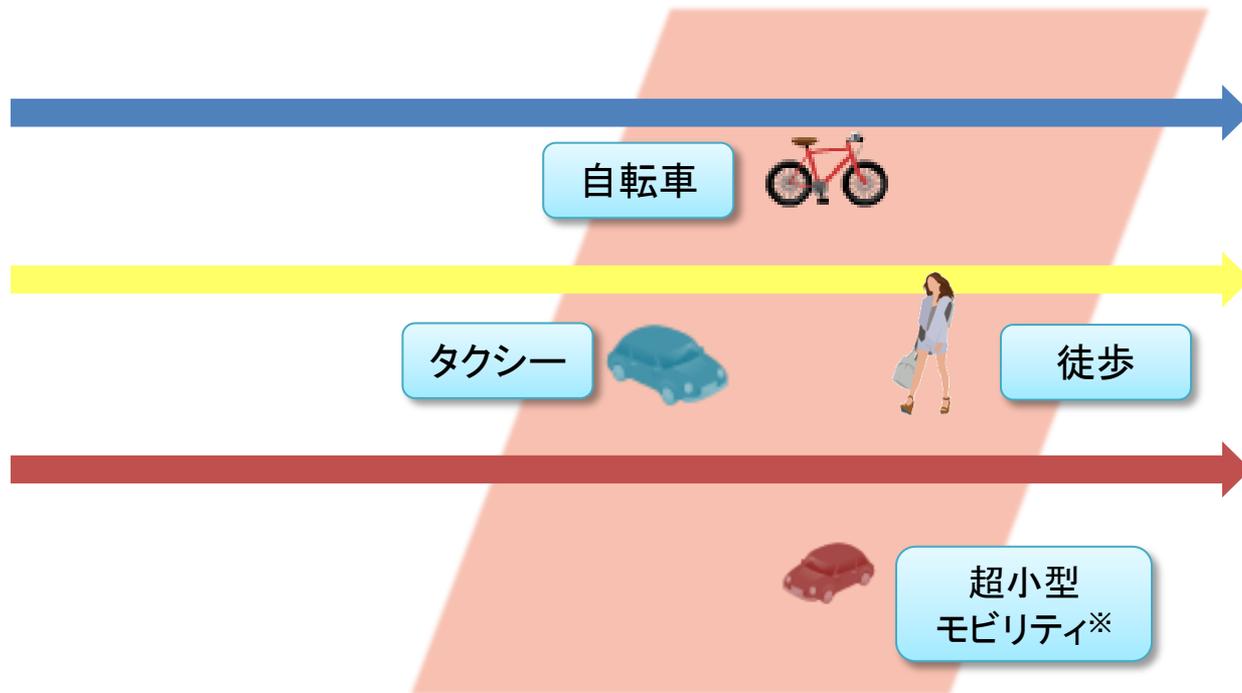
「地区交通マネジメント」について

- 地域交通の実情にあわせた、複数の交通モードの組合せのデザインと維持運営方法の方向性の検討

これまでの交通政策



地区交通マネジメント



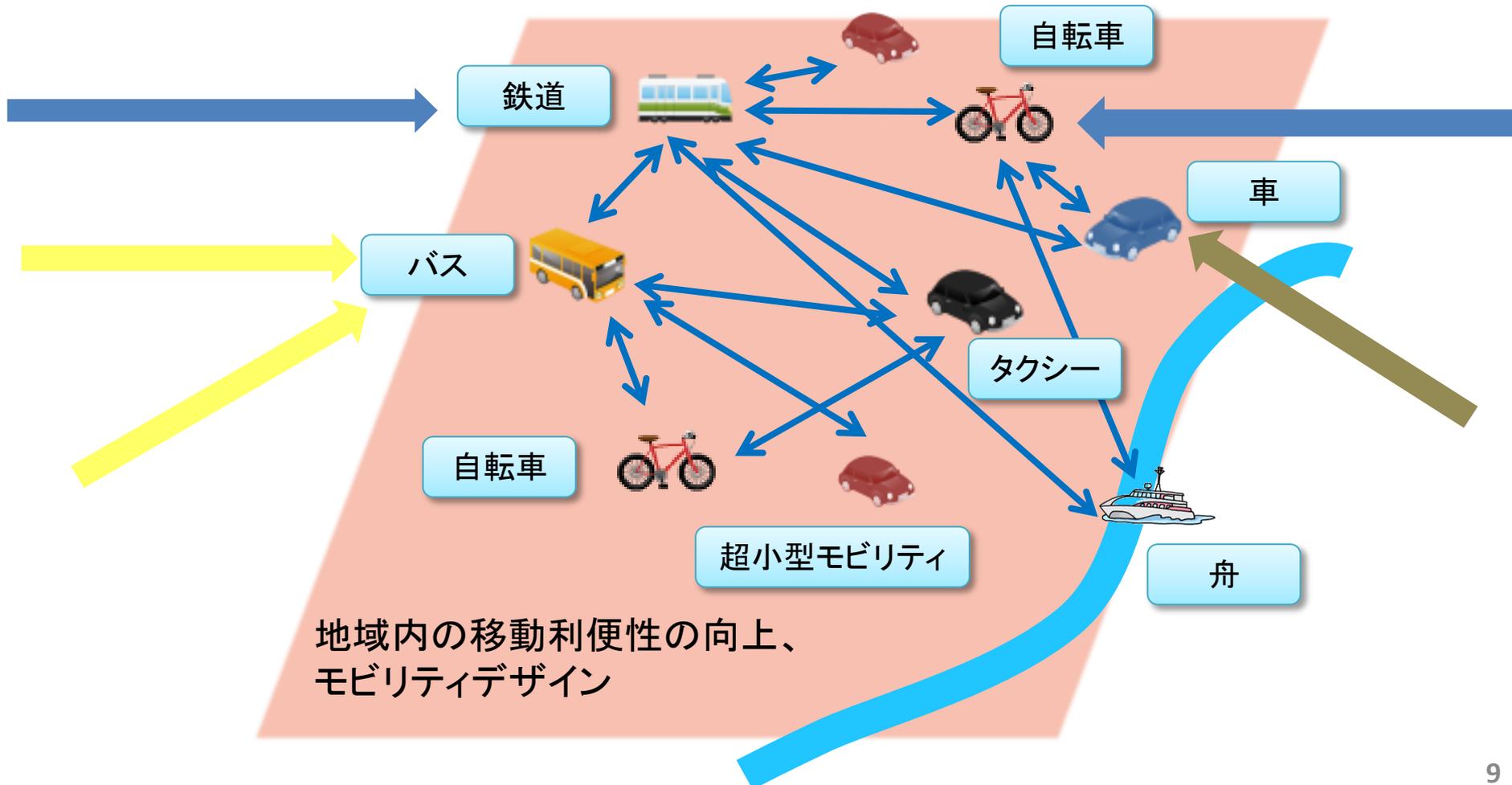
交通モードごとの利便性向上策

地域内の移動利便性の向上、モビリティデザイン

※超小型モビリティ: 交通の抜本的な省エネルギー化に資するとともに、高齢者を含むあらゆる世代に新たな地域の手軽な足を提供し、生活・移動の質の向上をもたらす、省エネ・少子高齢化時代の「新たなカテゴリー」の乗り物。(参照:国土交通省 超小型モビリティの導入)

「地区交通マネジメント」について

地区交通マネジメント



「地区交通マネジメント」を検討する背景

■ 背景

- ・ 東京都においても将来は人口減少が進む
（特に多摩地方は、2015年をピークに減少）
- ・ 街づくりにおいて、集約型地域構造の推進
- ・ 環境への配慮

- ・ 地区内での移動の円滑化を行うことにより、交通利便性を高める必要性

- ・ 多摩地域など、多様な異なる特性、問題、課題を持つ地区ごとに、それぞれの特性にあわせた交通のあり方を検討する、地区交通マネジメントの必要性

- ・ 国は、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律」の施行（平成26年11月）に基づき、都市全体の構造を見渡しながら、居住誘導や医療・福祉・商業等の都市機能の誘導と、それと連携した持続可能な地域公共交通ネットワークの形成を推進するため、計画作成・実施を予算措置等で支援

⇒ **地区交通の課題の状況把握を行い、
地区交通マネジメントの推進を行うなかで、
広域行政として、東京都が行うべき役割・支援策について検討**

- (1) 基礎自治体(区市町村)交通政策担当者ネットワークの形成
- (2) 地区交通マネジメントのケーススタディ(モデル)地区の選定と検討
- (3) バス・コミュニティバス等の利便性向上施策

自転車の交通体系への位置づけ

自転車利用の現況と課題

自転車利用の現況と課題

- ◆ 生活の足としての自転車の重要性は認識されているが、交通体系のなかでの位置づけがされていない。

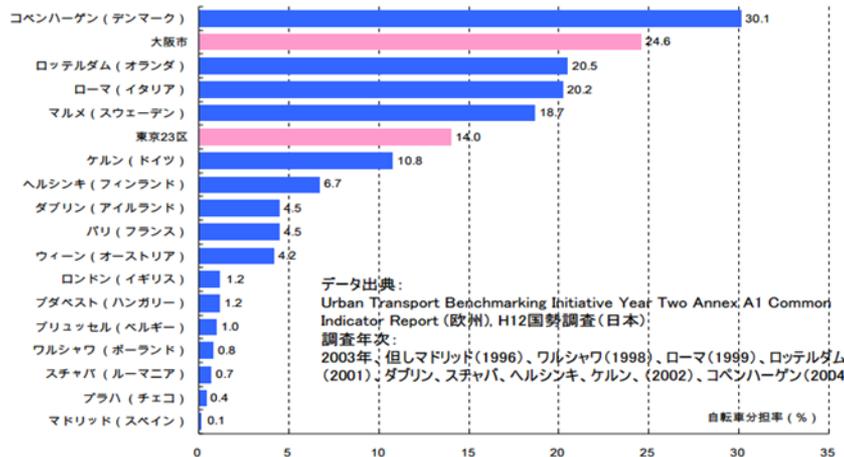
■ 自転車利用に関する現在の取組状況

- ルール・マナーの向上・・・
東京都自転車安全利用推進計画
- 走行空間の確保・・・
自転車走行空間の整備と自転車推奨
ルートの設定(東京都)
- 自転車シェアリング・・・
千代田区、港区、江東区、中央区
(平成27年10月開始予定)で取組

<自転車分担率> 世界他先進都市との比較

● 主な欧州諸都市と比較しても東京や大阪の自転車分担率は比較的高い。

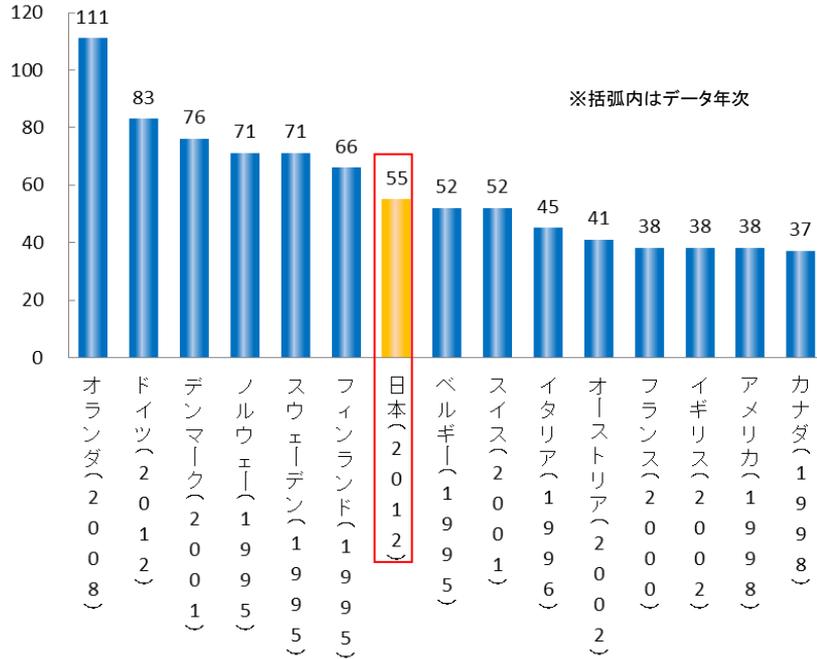
■ 自転車分担率の海外比較



出典:国土交通省HP

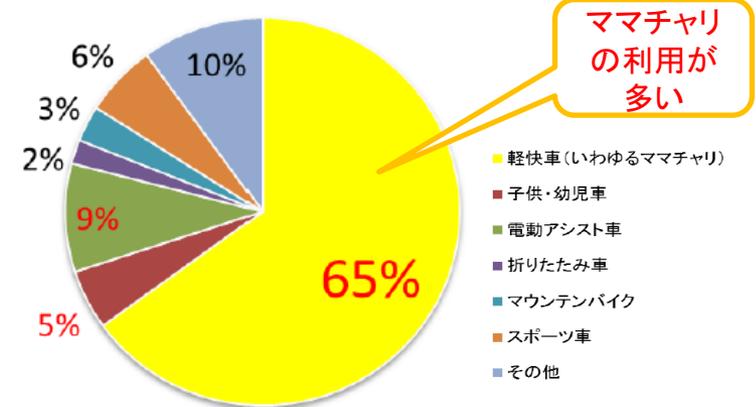
自転車利用の現況と課題

＜人口百人当たりの自転車保有台数＞



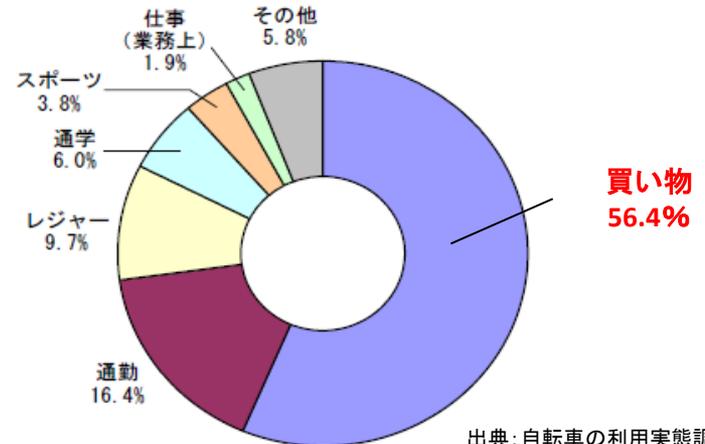
出典: 自転車統計要覧((一財)自転車産業振興協会)をもとに作成

＜南関東における自転車販売台数割合(H25)＞



出典: 自転車産業振興協会

＜自転車利用目的(全国)＞



出典: 自転車の利用実態調査を一部加筆
(財団法人自転車産業振興協会 平成23年3月)
N=30405

自転車利用の現況と課題 各関連会議等の状況

会議名	事務局	趣旨
自転車推奨ルート検討会・ 検討幹事会	東京都建設局	国道・都道・区市道において、相互に連続する自転車の走行位置明示を行い、自転車の走行しやすい空間の整備を推進し、多様化する自転車の利用形態に対して、安全で快適な道路空間を創出する。
東京都自転車シェアリング 連絡会・幹事会	東京都環境局	自転車シェアリングの普及に向け、環境負荷の低減等への効果、及び安全面や放置自転車等の課題解決に関する様々な情報を庁内関係局で共有し、必要に応じ調整、助言などを行う。
自転車シェアリング都区連絡会	東京都環境局	各区における事業基盤の確立を着実に進め、区境を越えた広域的な利用の実現に向けた検討・調整を行うための情報共有・連絡調整を行う。
東京都自転車安全利用 推進協議会	東京都青少年・治安対策本部	東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例第8条第1項に規定する自転車安全利用推進計画について協議するため設置する。
利用者の視点に立った東京の 交通戦略「推進会議」	東京都都市整備局	「東京都長期ビジョン」や「総合的な交通政策のあり方検討会」とりまとめで示された交通政策・施策の実現を図る。
利用者の視点に立った東京の 交通戦略推進会議 「道路空間活用WG」	東京都都市整備局	交通戦略の策定にあたり、学識経験者、東京都、区市町村及び事業者等で構成する推進会議を設置し、推進会議の下部に各種施策を検討するためのWGを設置する。

※本WGにおいては、上記会議の検討進捗状況を踏まえ、適宜、施策を検討するものとする。

自転車利用における 施策(アウトプット)項目

自転車利用における施策(アウトプット)イメージ

(1) 東京都の自転車政策の方向明示
自転車の交通体系への位置づけ

(2) シェアサイクルの活用促進～公共交通との連携～

(3) 利便性の向上～認識向上～

(4) 利便性の向上～利用支援～